

S M公開講座 「道 標」

本講座は主従関係のあれこれを道端の小石のような感覚で捉えていきます。

本講座の前に各 S M公開講座を受講されるようお勧めします。

なお、S Mプレイを中心とした直接的な行為について言及することはありません。

なのであらかじめご了解くださるようお願いいたします。

§ 1 ポジション

§ 2 お見送り

§ 3 お詫び

§ 4 1 m m

§ 5 引き出し

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

SM公開講座 「道 標」

§ 1 ポジション

私は左側が好きです。

なんといっても左側です。

って、なにをいってるんだかわかりませんよね ^^;

ただ左側を歩くのが好きなだけなんですけど。

並んで歩く時には（笑）

ふたりで一緒に歩いたり、お店で並んで座ったり、そんな時どっち側が好きとか

ってありませんか？

■ 奴隷のポジション

ご主人様と一緒に歩く時、どちら側を歩けばいいか気にしたことってありませんか？

そんなことは一向に気にしないご主人様もいれば、奴隷が横に並んで歩くなど

もってのほか！な ご主人様もいらっしゃるでしょうけど。

はっきりとどちら側とご命令を受けていないと、なんとなく自然にという感じになり

ますよね。

ご命令がなければどちら側でもかまわない。

それで叱られたわけではないのだから。

確かに間違っていないかもしれませんが

でも、それでいいんでしょうか。

ご主人様はどちら側がお好きなのか、それを感じ取る、それをお聞きする、

それに従う。

ほ～ら、奴隷のすべきことになっちゃうわけです。

奴隷のポジション。

「なんとなく」ではなく、どちら側にいればいいのかを気遣う気持ち。

それは奴隷としての心遣いなのです。

たかがどちら側なのではなく、どちら側にいればいいのかということに気がつくこと、

それを教えていただくこと、それを守ること。

どちら側なのかということそのものに気がつくようとしなければ気にしようがありません

せんが、ご主人様に対して奴隷が常にどうしたらいいのか、どうするべきなのか

という意識を持って接することが大切だとは思いませんか？

これは問題意識を持つというより、奴隷としての心遣いということなのです。

どんな時であってもご主人様に喜んでいただきたい、その気持ちが心遣いとして
現れる。

そんな奴隷ってステキだと思いませんか？

■ご主人様のポジション

どちら側にするのもさせるのもご主人様の自由。

それに拘らずその時の気分というのももちろん構いません。

主導権は当然ご主人様にあるのですから（あたり前すぎますけど ^^;）

ただし、奴隷がどちら側にしていいかわからずにウロウロしてしまうようでは

困りますよね。

決めてあげた方が迷うことなく従うことができることもある、とは思いませんか？

「どっちでも構わん」も命令であることに変わりはありません。

ただし、奴隷の心遣いに気がつかずにぼ～っとしちゃいけませんよね。

間違ってもご主人様が迷ってウロウロしないように。

「なんだ、どちら側かなんてそんなにたいしたことじゃないだろ」、「そんなことに拘らなくたっていいじゃないか」 と思われる方ももちろんいらっしゃると思います。

でも、あくまでもこれはほんの一例。

ご主人様がポジションを決めればそこが奴隷のポジションになるということなのです。

歩き時であろうと座る時であろうと、側にいる時であろうと側にいない時であろうと、どんな場所どんな時間でも。

たかが「どちら側」、されど「どちら側」。

ちなみに私は左側です。

でも、「どっちでも構わん」っていう時もけっこうあったりしますが（笑）

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

SM公開講座 「道 標」

§ 2 お見送り

歩きながら振り返るとそこにはお見送りする奴隷がいる。

歩いていきながら何度か立ち止まって後ろを振り向き手を振る。

そこにはにっこり笑顔の奴隷の姿が...

私の好きな時間のひとつです (*^^*)

ここで一言 寂しそうな顔ではなくあくまでもにっこり笑顔限定です。

もちろん、作り笑顔はダメです (笑)

ご主人様がお帰りになる時は奴隷はお見送り。

当たり前というまでもないことですが、じゃあね〜 バイバイ♪ってわけには

いきませんよね ^^;

ご主人様をきちんとお見送りするのは奴隷として当然のことですから。

とはいうものの、お見送りの時が辛いというM女さんが多いのも事実です。

もっと一緒にいたい、寂しい、離れたくない、、お持ち帰りして欲しい (縛)

そればかり考えてるとぜったいにっこり笑顔にはなれません。

■いってまいります

さて、奴隷の居場所というのはご主人様の中なのであって、けして奴隷の中に
ご主人様がいないのではありません。

ご主人様にとっては、奴隷の悦びも辛さもあれこれ全部ひっくるめて自分の
一部でなければならないのです。

なぜかというと、奴隷のすべてを我が事として感じられなきゃ、ということだから
なのです。

ということで、ご主人様は奴隷にとって「自分の本当の居場所」であり「自分の
帰る場所」でありますからして、奴隷にとってご主人様と離れている時間という
のは、しばしお出かけしてるということになるわけです。

お見送りの時に「気を付けてお帰りくださいませ (*^^*) 」ではあるのですが、
ご主人様の元からしばしお出かけなのですから、「いってらっしゃいませ」では
なく、ほんとに「いってまいります」なのです。

また戻るまでの間、ご主人様の奴隷として恥ずかしくないように、ご主人様に
所有していただいている自分を大切に、ご主人様の奴隷としての誇りを持つ

て過ごしていかなければならないのです。

その気持ちを込めたご挨拶、それがお見送りなのです。

ちなみに私は見送らせるのが好きです。

でも、見送るのも好きだったりしますけど（笑）

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

SM公開講座 「道 標」

§ 3 お詫び

こんなことを言ったら叱られる、こんなことをしたら怒られる・・・

まあ 言い出しにくいということはあるでしょうが、言えないというのは

奴隷としてはあってはならないことですよね。

そういう時って、こんなことを言ったら嫌われる、そんなことをしたら捨てられる

ではありませんか？

でも、叱られないようにしよう怒られないようにしようなんて思うのは100万年早い

のであります (笑)

だって、叱っていただくということは躡けていただくということですから。

叱られるのではなく、叱っていただけるのです。

ご主人様の奴隷だから、奴隷として叱ってもらえるのです。

叱っていただける身分であるということをお忘れなく。

わかっちゃいるけどやめられない だってお仕置きだいすきだも〜ん (それはちょっと違う (笑))

奴隷を躡けるには、言って聞かせること身体に覚え込ませることは当然のことですが

だめなことはきちんと叱るということも必要です。

ただ、叱るということと怒りをぶつけるのは違いますよね。

あくまでも躰けるため教えるために叱るのですから、

「あ、おまえ○○したろ お仕置きだな♪」というのとは別梱包をお願いします (笑)

叱られるよなことは黙っている、こんなことでは身は捧げてても心は捧げてないんじゃないでしょうか。

捧げろではなく捧げられるように躰けることが大事なことです。

奴隷なんだから叱られるのは当たり前、というより叱ってもらえるのが奴隷。

叱っていただくことは躰けていただくことですから、叱っていただいたときのお詫びは感謝の気持ちになるのです。

「申し訳ございません ; ; 」 は 「ありがとうございます ^^ 」 ということです。

ちなみに私はそんなに叱ることはありません。

でも、説教するのは大好きです (笑)

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp